

カテゴリー	記号番号	コメント
台風、不安	su0001	台風など、災害が一番不安で心配している。
	su0002	台風時は大きな波のため、松林はすぐ消える。
	su0003	松林がなくなると、台風被害が心配。
願望	su0004	防災の面から侵食により津波、高波の恐れがある。早急に対応してください。
	su0005	自分たちが子供の頃に遊んだ浜が欲しい。1日も早い工事がほしい。
	su0006	地域に住む住民としては、サーフィンやウミガメも必要だが、危険解消することが一番である。
その他	su0007	第一回の懇談会に続き第二、三回と会合を進めて欲しい。
	su0008	国は海岸法、基本計画、海洋基本計画に、海岸景観形成ガイドライン系の法律を熟読しているのか。
	su0009	無駄な税金は使わないように。工事が無駄。耐用年数も限りある。
砂について	su0010	港にたまった砂をどこに保管しているのか。又はどこに捨てていたのか。
	su0011	砂の移動について詳しく調査されているか？
	su0012	砂浜を増やすには、離岸堤が必要と思う。
広域問題	su0013	大淀川の土砂流出によって、赤江浜の供給源がなくなった。技術委員会の結論は幼稚で、委員選出を慎重に！
	su0014	一ツ葉人工ビーチのトイレをなぜ1億円もかけて作ったのか？！
現状	su0015	住吉海岸の侵食は、年々増加していると考えられます。
	su0016	防堤に穴が開いてあぶない。
原因	su0017	侵食の原因は、港の防波堤にあると思う。海流は南から北へ、港が原因ですべての工事が無駄である。
工法	su0018	早急に対策を考えて欲しい。工事の方法としては、T字型が良いと思います。砂浜が短くなってきている。
	su0019	砂浜の復元は砂溜り、浜草の自生、流木の改善を繰り返すことが重要である。
	su0020	サンドバイパス工法の費用対効果の%を知りたい。
	su0021	サンドバイパス工法について。砂浜が約20mあれば約50%災害が防げることを知っていますか！！
	su0022	直轄工事の実施に当たっては、環境影響評価法を遵守していただきたい。
	su0023	特別な意見も必要だが、ヘッドランド工法が良いと思う。
	su0024	先ず現工法の検証と今後の対策を検討すること。
	su0025	養浜とヘッドランド方式が大変良いのではと考えますので、出来るだけ早めに着工になるようお願いします。
	su0026	工事が着工しても20年かかるとのことだが、10年ぐらいでは完成してほしい。
	su0027	防波堤を直角でなく、南75度にする。
	su0028	河川から流入した土砂は、浮砂となり砂嘴、砂州を形成して砂口を創った。コンクリート製品で砂嘴、砂州が出来るのか。自然素材の活用を要する。
su0029	住吉海岸の復旧は、海岸工法は経済的、効率的な地域活性に負担をかけないことが重要である。	
意見の数		29

カテゴリー	記号番号	コメント
原因	su0030	原因は？
	su0031	原因は？そのまま護岸工事すべき？
	su0032	侵食の根本原理。
	su0033	増林したことで、風が吹かなくなったのが原因では？
	su0034	地盤沈下で佐土原町民は「海水入水道水」を飲まされている。
現状	su0035	砂は10mまたはそれ以上深い所に流れている。
	su0036	台風のたびに砂が来て、1年に1mの砂浜が育っていた。
	su0037	砂の中に深さ10m又はそれ以上の穴を掘った。(宮崎港という穴)
	su0038	現在の突堤は効果あり??
	su0039	松林、松くい虫。
	su0040	港が出来る以前の住吉海岸は砂浜が4~500mあって、1年に1m出ると昔(S10年)は言っていた。
	su0041	地盤沈下は一ツ瀬(佐土原で20cm)、石崎川(住吉で10cm)
	su0042	砂が10~12mに流れるので、地盤沈下が進んでいる。
宮崎港	su0043	宮崎港を撤去したら砂浜は戻る。その時にT字突堤はじゃまになる。
	su0044	宮崎港がある限り、どんなことをしても駄目だ！
	su0045	毒食わば皿まで。港が「どく」を出し、ついでに建設がしりぬぐいで毒を食うた。
	su0046	宮崎港との関連？
	su0047	宮崎港について知りたい(原因なのでは?)。
	su0048	港にこだわれば、住民は「座して死をまて」になる。
自然	su0049	自然にもう一度かえせ。自然は美しい。人工はきれい。
	su0050	自然環境への配慮を。
工法	su0051	計画中止の可能性のない事業に対する意思を言うのはむなしい。
	su0052	川から運ぶ砂は堅い浜に置くのではなく、海の中へ置いて欲しい。
	su0053	侵食を防ぐ意で、テトラを置くなら奥のほうに。
	su0054	川の砂などを養浜しても、海の生物の保全にはならない。
	su0055	宮崎港の突堤の延長は、この時勢、意味がない。一方で砂をさえぎり他方で砂を運ぶ金のむだ。
	su0056	ヘッドランドを造っても、砂の流れは止まらない。
	su0057	一ツ瀬川の導流堤を延長する計画があるという。やめて欲しい。
工法-疑問	su0058	工法のメリット、デメリットは？
	su0059	地盤沈下について詳しく知りたい。
	su0060	指揮をとる人が海岸を知らないというのは、どういうことなのか？
	su0061	今後永遠に砂をトラックで運び続けるのか。
	su0062	なぜ1年ごと、はげしくなるのか？
	su0063	コンクリート沈むのではないのか？
	su0064	T字突堤は対症療法。抜本的対策も国交省はとると言っている。宮崎港撤去のことなのか。
	su0065	T字突堤を宮崎に作る計画が中止になる可能性は何%なのか。
	su0066	日向には小倉ヶ浜を見渡せる岬がある。宮崎海岸にはそういう場所がない。だから護岸や突堤を作るのか。
行政はお勉強しよう	su0067	今以上に侵食は進むのだろうか？
	su0068	行政は自然摂理をしっかりと学べ。砂の中に穴をほれば、穴に砂が流れる。

カテゴリー	記号番号	コメント
	su0069	海流をしっかり学べ。
懇談会の進め方	su0070	書くばかりで話をする時間がない。話をする会合をもつべきだ。
	su0071	やり方ばかりの話で、海岸の話が何もされていない。いかさま法
	su0072	書くことよりも話し合う方が考えが深まる。
	su0073	書くのが得意でない人は意見なしとみなされるのか。
	su0074	考えを深めないための目くらしの方法だ。
	su0075	たくさんの紙を書いた人の意見が強くなるやり方だ。
	su0076	こんなにたくさんの紙をとっておくスペースがあるのか。いつまでとっておくつもりか。
	su0077	意見を書く時間が長すぎる。
	su0078	貴重な懇談会の時間が話し合いの方法を説明するために費やされた。
	su0079	たくさん意見を書いたが、それぞれに返事がほしい。必要なら国交省事務所に outward。
昔の思い出	su0080	ブチの投げ釣り
	su0081	昔は学校の後に海へ行っていた。
	su0082	昔は朝から海ガメの産卵を見ていた。
	su0083	遠足にいていた。
	su0084	子供がいなくなった。
	su0085	ソフトボール。
	su0086	地引網。
	su0087	昔の一ツ葉海岸を覚えている人は、今までの県の対策に幻滅している。
	su0088	県外にも宮崎の海岸を心配している人は多数いる。宮崎だけの問題ではない。
プロセス スケジュール 検討委員会 情報公開	su0089	検討委員会には生物の専門家だけでなく、生態学の専門家を入れなければ意味がない。
	su0090	検討委員会の委員に加えて欲しい。
	su0091	海岸問題を調査研究している人たちが、成果報告を市民向けにしているのを聞いたことがない。怠慢ではないか。
	su0092	九十九里浜の鴨川市にあるような市民・サーファー・行政・研究者の円卓会議を作って欲しい。
	su0093	懇談会以外にも関心の高い人を集めた意見交換会を開いて欲しい。
	su0094	行政と完全に対立する気はない。もう少し上手に意見交換の場を作って欲しい。
su0095	情報公開を求める。	
鹿島灘のT字突堤	su0096	鹿島灘のT字突堤のパンフはいつもらえるのか。
	su0097	九十九里浜、鴨川市の円卓会議の関係者を招いて講演会を開いて欲しい。
	su0098	立派なパンフレットを作っているが肝心のT字突堤のパンフがない。
	su0099	鹿島灘にあるT字突堤がもたらした弊害についての報告を聞きたい。
	su0100	九十九里浜にT字突堤がないのは円卓会議があるためなのか。
	su0101	鹿島灘のT字突堤の有効性についての研究報告を聞きたい。
未来	su0102	住吉海岸にT字突堤を作ったあとは、富田浜、堀の内海岸が続くのか。
	su0103	砂浜が欲しい。
	su0104	子供が海で遊べる様にして欲しい。
意見の数		75

カテゴリー	記号番号	コメント
砂浜について	su0105	元の砂浜がほしい
	su0106	昔の砂浜にしてください
	su0107	昔のように砂浜が広くあった方がよい。今は浜を見ると不安である。
	su0108	何もない砂浜が一番いいので、それが工事でなくなるんじゃないかというのが不安。
	su0109	これからの地元の小学生が、お別れ遠足を地元の砂浜でできるよう、昔の砂浜に戻す最大限の努力をしてほしい。
予算について	su0110	H19年8月で予算要求なのに、8月に第1回検討委員会発足というのはおかしいのではないかと不安。
	su0111	本当に今日の住民の意見を取り入れていくのであれば、予算要求はもう1年見送るべきではないかと不安。
思い出	su0112	小学校の別れ遠足は浜であったが、今は場所がなくなっている。
	su0113	遠足をできる海岸にして欲しい。
	su0114	昔の運動会があったり、貝採りをしていたという昔の海岸の姿をもう一度見てみたい。
不安に思っていること	su0115	宮崎の海がこれからどうなるのか不安。
	su0116	すでに工事(養浜+ヘッドランド)が確定しているのではないかと不安。
	su0117	景観が失われ、飛行機から見る宮崎の海が汚くなるのが不安。
	su0118	赤江浜のときのように、いつの間にか工事が進んでいないかと不安。
	su0119	防災対策が第一。
懇談会について	su0120	ワークショップ方式をする前に、3-4回考える時間が欲しい。
	su0121	検討委員会には地元住民、サーフィン団体、亀の保護団体、県職員、国交省職員、経済界など、多数な人材が机を囲めるようにしてほしい。
津波対策	su0122	侵食対策と同時に津波対策として、海岸に地震速報の警報スピーカーを設置して欲しい。
	su0123	傾斜堤にしてほしい。
	su0124	護岸工事をいくらしても駄目だ。
工法について	su0125	港を掘り下げた砂はどこに出すのか。
	su0126	ヘッドランドを入れることによって、亀が怖がって上がってこなくなるのではないかと不安。
	su0127	グリ石、金網は外々えった。すべて台風で何百mくずれた。
	su0128	対策についてはテトラポットを入れて、一ツ葉の前のようにしたら砂浜が多く出来るのではないかと思う。
	su0129	砂を入れるよりも砂が他に逃げないような工夫が大事。
侵食対策について	su0130	侵食対策として、宮崎港の一部撤廃(防波堤の100m単位での撤廃による調査)は検討いただけないか。
	su0131	侵食対策の根本は宮崎港ではないのか。
	su0132	侵食の始まりは港が出来てからである。港の構造について考えるべきである。
	su0133	全国でまだどこも成功していない構造物を入れない侵食対策にチャレンジしてほしい。綾で画期的なプロジェクトが上がったように、住吉海岸でもできないか。
名称	su0134	名称は住吉佐土原海岸
意見の数		30

カテゴリー	記号番号	コメント
離岸堤、突堤について	su0135	千葉県の一の宮ではヘッドランドをして、中央部分が侵食されて岸もコンクリートがはいったのに何故？
	su0136	離岸堤には反対（波がこない）。
	su0137	海岸にコンクリートをいれることは、今までに侵食を止めた試しがない。
	su0138	赤江浜に突堤を作ったが、どんどん侵食が進み最後にはコンクリートだらけになった。砂浜はどこへ？
	su0139	ヘッドランド工法の確実なデータがないのに、なぜヘッドランドなのか？
	su0140	突堤は美しい日本を目指す日本の美しい海岸にとって不必要。
養浜工法	su0141	砂をせき止めている港やダムからサンドバイパス（サンドポンプ）を使うのが、自然にも護岸にも良い。
要因	su0142	以前の護岸工事により、侵食が加速した。
	su0143	砂流出の真の原因を早く分析して対応策をしないと台風などでの被害が心配だ。
	su0144	港の施設ができてから砂の流出が始まったのではないのでしょうか？
	su0145	海に突き出たコンクリートの突堤が砂流出の原因の一つでは？昔は何もなかった。
	su0146	防風林が出来たため、陸に上がった砂が海の方（砂浜）に戻らなくなった。
	su0147	砂が無くなった原因の改善ができないかの検討をまずすべきではないか。（例：宮崎港、ダム等）
	su0148	なくなっている砂はどこへ行っているのか？
	su0149	宮崎港の影響で海流の流れが変わって、住吉海岸をえぐって砂を港の方へ送っているのであれば、港の工法、必要性を検討すべき。
昔	su0150	昔は台風時、現在のゴルフ場辺りで流木等が押し上げられていた。
	su0151	以前にも侵食された形跡がある。（火山灰や空きカンが砂浜の下の方から出てくるので）
	su0152	スワプトの貝のカラを壁の土に入れていた（装飾品用）。
	su0153	地方名でスワプトと云う貝が全くいなくなる。
環境への影響	su0154	コンクリート工法そのものが、海岸法の利用と環境を守っていないのでは？
	su0155	イシモチが釣れなくなった（生態系の変化）。
	su0156	環境に影響の少ない工法の方が良い。
費用	su0157	以前の護岸工事と今年完成した護岸工事費の差額（波返し）。
	su0158	防災上、工事が必要であれば十分に検討が必要。すぐ壊れるもの維持費がかかるものはするべきではない。
	su0159	事業による費用対効果は？
	su0160	工事費用はどのくらいかかるのか、すべて税金。
懇談会	su0161	今回の意見を整理し、一回徹底的に1日かけても討論会をすべき。
	su0162	ワークショップのやり方は、意見が伝わりにくい。文だけでは伝わらない。
	su0163	意見がまとまってない人には、かきにくい。
	su0164	急いで工法を決めるより、もっと住民と対話して欲しい。サンドバックで仮護岸をして。
その他	su0165	有料道路がこわれる。
	su0166	このごろ海岸に行っていないので、現況が分からない。
	su0167	住吉海岸だけ、こんなにひどいのか。青島とかは砂は減っていないのか。
	su0168	現在のままだと県民の生活に影響がでるのであれば、何か対策は必要だと思う。
意見の数		34

H19.6.21 住吉海岸（仮称）懇談会（住吉公民館） 質問・意見要旨

吉武先生説明後

- ・ 出された意見を回答する場はどのように行うのか。また、このような懇談会形式で回答してもらうのは可能か。
- ・ 懇談会の議論の中で一番問題になるのは、T字型突堤をつくるかどうかということが焦点になる気がするが、それについて意見を言おうと思っても、T字型突堤が有効かどうか私たち住民に分かりやすい説明と資料の配布を行ってもらわないと意見が言えない。要望としては、懇談会を開く前に住民に分かりやすい説明会を行ってほしい。
- ・ 以前小学校の教師をしていたが、現在退職している。昭和50年に港や空港をを大きくして拡張すると家も流れてしまうという子ども達からの質問を受け、今日まで研究を続けている。住吉には昭和55年から8年間勤務し、子ども達と一緒に住吉海岸に遊びに行き、遠足をして、楽しい思い出をたくさんつくったが、危険な状態というのが刻々と迫ってきていた。そういう現実を踏まえ、教え子達のために何らかの事ができるという事を想定して研究を続けているが、今までの県の進め方、そして県がとうとう手をあげて国に持って行った。そうすると国は、待ってましたとばかりに護岸を整備しようとする。護岸が前提ということであって、港をつくったことが大きな原因であるということは住民は誰もが知っている。しかし、港の港湾課の方は、全然顔を出さず、他の所だけが護岸をつくることを前提として、佐土原、住吉、宮崎と懇談会を持たれていく。護岸づくりにどういう風に市民を巻き込んでいくというというのが前提ではないのかなと思う。そして、護岸はつくっても大変厳しい状況にあるということは、一ツ葉の離岸堤や今までつくった護岸がはっきりしている。佐土原ではウミガメの話があったが、わずかに砂浜が残っているため。住吉にはウミガメという話は多分でないと思う。産む場所がないのですから…以上です。

熊谷係長状況説明後

- ・ 詳しい住吉海岸の説明有り難うございました。柏田にはT字型突堤が30基以上できていて、隣の九十九里浜には、一つもないという説明があったが、これから私たちが意見を出し、一回目の委員会二回目の委員会と進んでいったとき、宮崎は九十九里浜のようにT字型突堤をつくらないという可能性がありますか。その可能性があるかないかによって私たちの出す意見も違ってくると思う。
- ・ 可能性がないのに意見を言うのは、何を言って良いのかわからない。
- ・ 話し合いをするのに意見というのは、必要ではないか。
- ・ 先ほどの国土交通省の説明の中で、川から砂が流れてきて、突堤の両脇に砂が着くという説明があった。港の中に砂が溜まっているという説明がなかった。港の中に溜まった砂を今までどうしていたかという説明がないと、なぜ、住吉海岸の砂がなくなった説明が多分分からないと思う。私たちの調べでは、その砂を沖合に捨てていたという統計がある。2年ぐらい前からそれをやめている。港に溜まった砂を沖合に捨てていたという事実関係をはっきりさせて頂きたい。